

【ゴルフを愛する皆様へ(2020.5.30)】JGA ホームページ掲載

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で全国に出されていた緊急事態宣言もようやく全国的に解除されました。ゴルファーの皆様は、これまではゴルフ場でのプレーや練習場での練習が思う存分出来ない日々が続いていたと思います。もちろん、まだまだ段階的な解除ですので、それぞれの地域によってその内容には開きがあり、政府や自治体の出す指針を守っていただきながらというのが大前提ですが、今後は自然の中で、「3つの密」を避け、一人ひとりが「身体的距離(ソーシャルディスタンス)の確保」、「マスクの着用」、「手洗い、消毒」などの「新しい生活様式」を励行しながら、ゴルフを大いに楽しんでいただきたいと思います。全国の多くのゴルフ場や練習場では様々な工夫をしながら、ゴルファーに施設を提供してくれています。日本ゴルフ協会では、ゴルファーに皆さんに下記のことを守った上で、ゴルフライフを取り戻していただきたいと思いますと考えています。言うまでもなくゴルフの大原則は、エチケット、マナーです。それは人に迷惑をかけない、周りの人に気配り、配慮をする、規則に従って誠実にプレーするといったことです。従って、現在の状況下で、我々ゴルファーが出来ること、守らなければいけないこと、しなければいけないことは何なのか？を皆さんと共有したいと思います。

《体調異変、症状に疑いがある場合には出かけない》

発熱、咳、倦怠感、味覚嗅覚異常、息苦しさ等の症状がある場合には出かけない。

《マスクの携帯と着用》

人と接する場所では必ずマスクを着用する。例えば、クラブハウス内、練習場、練習グリーン、人と2メートル以内に接するような場合。自分は大丈夫だと思っても周りの人に不安や不快感を与えないためにも是非守ってください。

《消毒液の携帯》

可能であれば携帯用の消毒液を持参して、こまめに手指の消毒をする。例えば、スタート前、ホール間、バンカーレーキや旗竿、乗用カートに触れた後など。

《手洗いの徹底》

クラブハウスに入る時、出る時、売店を利用する前と後、こまめにそして丁寧に。

《握手を避ける》

挨拶がわりの握手やハイタッチ、ハグはさける。

《集まりを避ける、大声での会話はしない》

クラブハウス内、練習場、朝のスタート時、ラウンド後、常に周りの人との距離を意識する。

《自分の持ち物以外には極力触れない》

同伴競技者のクラブやボールには触らない。間違えのないように自分のクラブやボールに識別マークをつける。旗竿はさしたままプレーする。バンカーレーキがなくても、次に来る人のためにクラブや足を使ってなるべくきれいに均すように心がける。

《感染を防ぐための特別ルールを採用する》JGA ホームページをご参照ください。

緊急事態宣言が出されている間はどうしても運動不足になり、精神的なストレスも溜まっていたと思います。政府もスポーツ庁も国民には、身体的及び精神的な健康を維持するため、感染拡大防止に十分配慮した上での適度な運動を強く推奨しています。ゴルフは老若男女が垣根なく楽しめるスポーツで、工夫次第で感染を防止しながら、健全な精神や健康に寄与できるスポーツであり、スポーツ庁もこのようなメッセージを出すことを応援してくれています。

最後に、来年に延期された東京オリンピックの開催、成功をみんなが待ち望んでいます。そのためにはコロナウィルスを収束させること、感染の第2波、第3波を起こさないことです。ゴルフを愛する人たち全員で協力して、乗り切りたいものです。

各ゴルフ団体が様々なコロナウィルス対策のガイドラインを策定しています。下記一覧表から必要に応じてご参照ください。

LET'S RETURN TO GOLF!!!